

柱Ⅳ 次世代を担う心豊かな人づくり

いのちとマグネットの視点

- ☞ 妊娠から出産までの支援を充実し、神奈川県で“生む”
- ☞ 社会全体で協力し、県民総力戦で子どもを“育む”
- ☞ 虐待やいじめなどから子どもを“守る”
- ☞ 子どもの可能性を伸ばし、次世代を“創る”



プロジェクト

13 子ども・子育て応援社会の推進

安心して
生み 育てる
ための医療
体制の充実

出産・育児
を応援する
環境づくり

働きながら
子育てできる
環境と子どもの
居場所づくり

安心して子育てできる環境の実現

14 子どもの安心のための総合的な支援

すべての子ども
のいのちを
守る体制づくり

支援を必要
とする子どもの
育ちを保障する
しくみづくり

子ども・若者
の社会的自立
を支援する
しくみづくり

子どもの尊厳、いのちを守る

15 明日のかながわを担う人づくり

一人ひとりの
生きる力を
高める
学校教育

障害のある
子どもたちを
育む支援教育
の推進

児童・生徒
が学ぶ
環境づくり

豊かな人間性や社会性の育成

コラム：子どもの貧困

我が国の相対的貧困率（2009年厚生労働省調査）は16.0%、子どもの相対的貧困率は15.7%と、上昇傾向にあります。

こうした中で、親世代の所得や雇用の格差が子どもの教育や生活習慣、意欲などに影響し、親から子に引き継がれ固定化する「格差の連鎖」が懸念されており、未来を担うすべての子どもが、平等な機会を得て、安心して育つ環境づくりが求められています。

ねらい

- 安心して子育てできる環境の実現
- 子どもの育ちを社会全体で支援する機運の醸成
- 「生きたい・育てたい」と「働きたい」の両立支援

目標 認可保育所の定員数（単年度）

【現状(2011年)】	【2012年】	【2013年】	【2014年】
98,736人	104,000人	107,000人	110,000人

働きながら子育てする人は増えていますが、安心して子育てできる環境を実現するためには、いつでも必要な保育サービスを利用できることが重要です。そこで、市町村の保育ニーズを充足するために必要な保育所定員数を確保することを目標としています。



園庭で遊ぶ子どもたち

1. 安心して生み、育てるための医療体制の充実

- 子どもを安心して妊娠し、出産に臨むことができるよう、身近なお産の場の確保や出産前後の周産期医療の整備に取り組みます。
- 乳幼児の健康を守り、安心して育児を行うことができるよう、小児救急医療体制の整備に取り組みます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 出産の場の確保と出産前後の医療体制の整備	県、市町村 民間	産科確保、周産期医療体制の整備		
② 子どもの救急医療体制の整備	県、市町村 民間	小児救急医療体制の整備		

2. 出産・育児を応援する環境づくり

- すべての子どもが健やかに生まれ、育つことができるよう、子育てに不安を抱える親や支援を必要としている子育て世帯などに対して、家庭、地域、企業など、社会全体で子育てを支援する環境の整備と機運の醸成に取り組みます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 社会全体で子育てを支援する環境の整備	県、市町村 民間	事業者の認証制度の普及と子育てを推進するまちづくり		
② 子育て支援の機運の醸成	県、市町村 民間	子育て支援活動の推進と子育て力の向上支援		

3. 働きながら子育てできる環境と子どもの居場所づくり

- 子育て世帯が安心して子育てと仕事などを両立することができるよう、市町村や企業などと連携し、保育サービスの基盤づくりを進めます。
- 子どもが放課後や長期休暇を安心して過ごすことができるよう、留守家庭の子どもを対象にした放課後児童クラブや、子どもに安全・安心な居場所を提供する放課後子ども教室などの充実を図ります。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 保育サービスの基盤づくり	県、市町村 民間	多様な保育ニーズの充実支援		
② 子どもが安心して放課後を過ごせる居場所づくり	県、市町村 民間	小学生の放課後対策の充実支援		

ねらい

- 子どもの尊厳、いのちを守る
- 一人ひとりの子ども・若者の可能性を拓く

目 標 いじめ認知件数のうち、年度内に「状況改善」した割合

【現状(2010年)】	【2012年】	【2013年】	【2014年】
91.7%	94%	95%	96%

子どもの課題は複雑化・多様化しており、子どもの尊厳、いのちを守るためには、学校、家庭、地域、行政などの関係機関が連携して支援にあたるのが重要です。そこで、いじめを認知した件数のうち、年度内に状況が改善した割合を増やすことを目標としています。



いじめのない教室を学ぶ子どもたち

1. すべての子どものいのちを守る体制づくり

- 児童虐待を防止するため、出産前から子育て家庭が孤立しないよう、関係機関の連携による地域のネットワークの充実や虐待に陥らない親子関係の構築支援に取り組みます。
- 子どもや若者に対するいのちの大切さの学びを深めるとともに、人の尊厳や命を脅かすいじめ・暴力行為などを防止するため、学校や地域における取組みを推進します。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① 児童虐待の未然防止に向けた関係機関連携による地域のネットワークの充実	県、市町村 民間	ネットワークの充実、親子関係構築支援		
② いのちの大切さの学びと学校などにおける取組みの推進	県 市町村	「いのちの授業」の実施、学校などの取組み推進		

2. 支援を必要とする子どもの育ちを保障するしくみづくり

- いじめを見逃さずに認知し、早期の解消を目指すとともに、不登校の状態にある児童・生徒へのきめ細かい支援や、いじめ・不登校などを生まない学校づくりを進めるため、学校と家庭、地域、関係機関などの連携強化に取り組みます。
- 社会的養護や専門的療育を必要とする子どもの成長を支援するため、児童養護施設における家庭的な環境の下での養育の推進や様々な課題を抱えた子どもの自立支援拠点整備などの専門的ケア体制の強化を図ります。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① 学校と家庭、地域、関係機関などの連携による支援の強化	県、市町村 民間	連携の強化		
② 子どもへの専門的ケア体制の整備	県、民間	専門的ケア体制の整備		

3. 子ども・若者の社会的自立を支援するしくみづくり

- 社会生活を円滑に営む上で困難を有するすべての子ども・若者を支援するため、切れ目のないトータルな視点から、総合相談窓口の整備と自立に向けた支援に取り組みます。
- ひきこもりなどの問題を抱える子ども・若者の支援を推進するため、地域における相談・支援体制の充実を図ります。

主 な 取 組 内 容	実施主体	2012	2013	2014
① 子ども・若者の総合相談体制の整備	県	総合相談窓口の設置、相談体制の強化		
② 地域における相談・支援体制の充実	県、市町村 民間	地域の相談・支援体制の充実		

- ねらい**
- ♪ 豊かな人間性や社会性の育成
 - ♪ 課題を抱えた子どもたちへの教育の充実
 - ♪ 安心して学べる教育環境の実現

目標 キャリア教育により成長できたと感じる県立高校生の割合

【現状(2010年)】	【2012年】	【2013年】	【2014年】
77.4%	78%	79%	80%

次世代を担う子どもたちが豊かな人間性や社会性をもって社会人として自立するためには、必要な能力や態度を育てることが重要です。そこで、キャリア教育により成長できたと感じる県立高校生の割合を増やすことを目標としています。



パン屋でのインターンシップ

1. 一人ひとりの生きる力を高める学校教育

- ☞一人ひとりの生きる力を高めるため、小・中学校を中心とした学習状況調査や実践研究を通して教科指導方法の工夫や改善を行うなど、確かな学力向上の推進に取り組みます。
- ☞多様化する生徒の幅広い学習ニーズに対応し、生徒の学ぶ意欲に応えるため、活力と魅力ある県立高校づくりを進めます。また、子どもたちの主体的な学校選びを実現するため、私立学校を含め、各高校の魅力や特色をアピールしていきます。
- ☞一人ひとりが、将来、社会人・職業人として自立していくことができるようにするため、インターンシップや職業技術校を活用したものづくり体験など、必要な能力や態度を育てるキャリア教育の充実に取り組みます。
- ☞子どもたちが科学の楽しさを実感できるよう、県内各機関で開催される科学体験機会の紹介や民間機関と連携した小中学校向けの出前授業の実施などに取り組み、科学への理解を高める活動を推進します。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 確かな学力向上の推進	県市町村	学習状況調査と実践研究の実施		
② 活力と魅力ある県立高校づくり	県	学ぶ意欲に応える県立高校づくりの推進		
③ キャリア教育などの推進	県	キャリア教育の充実・推進		
④ 科学への理解を高める活動の推進	県、市町村、民間	科学体験機会の紹介、出前授業の実施		

2. 障害のある子どもたちを育む支援教育の推進

- ☞特別支援学校への入学を希望する児童・生徒の増加に対応するため、特別支援学校の設置やスクールバスの計画的な配置などを進めます。
- ☞障害のある児童・生徒の自立と社会参加を進めるため、就労支援や進路指導などの充実による支援教育の推進を図ります。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 特別支援学校の整備	県	特別支援学校の設置、スクールバスの計画的な配置		
② 支援教育の推進	県	進路指導の充実、教育相談コーディネーターの養成		

3. 児童・生徒が学ぶ環境づくり

- ☞個性豊かな次代の人づくりを担う高い指導力と意欲をもつ教職員の確保や育成を図ります。
- ☞生徒が安心して学べる環境を整備するため、県立教育施設再整備10ヵ年計画（まなびや計画）に基づく耐震化・老朽化対策などに取り組みます。

主な取組内容	実施主体	2012	2013	2014
① 高い指導力と意欲をもつ教職員の確保・育成	県	教員志望者養成講座、教職員研修の充実		
② まなびや計画に基づく耐震化・老朽化対策の推進	県	県立教育施設の耐震化・老朽化対策		

